

vol.22

2024.6

みまや通信

いわき市医療センター広報誌

つ
な
が
る

特集①

災害拠点病院とDMAT

…4~5

特集②

看護部のご紹介

…6~9

- 新年度のご挨拶……………2
- 医療センタートピックス……3
- 外来担当医一覧……………10~11

新年度のご挨拶

地域との協同

日頃より、病院運営に対し、多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当センターは、皆様の生命を守る「最後の砦」として、高度急性期医療の提供に全力を尽くしているところです。

昨年度は、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入するなど、いわき医療圏の高度急性期医療を担う中核病院として、診療機能の強化を図りました。

また、臨床研修医の募集定員がすべて埋まる「フルマッチ」を5年連続で達成しており、将来を担う若手医師は増加しています。

しかしながら、エネルギー価格・物価高騰に伴う経費の増嵩や、本年4月から開始された「医師の働き方改革」への対応など、医療を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

先般の、新型コロナウイルス感染症への対応では、市医師会や病院協議会をはじめ、地域の医療機関の皆様が、適切な役割分担のもと協力し合うことで、難局を乗り切ることができました。



いわき市病院事業管理者 **新谷 史明**

私は、「いわきの医療」を未来にわたり守っていくためには、こうした連携こそが大きなカギになると考えています。

本年3月に策定した「いわき市病院事業中期経営計画」においても、「競争」ではなく“協同”をキーワードに掲げ、当センターと地域の医療機関等のそれぞれの強みを活かし、相互補完・連携体制の実現を目指していくことといたしました。持続可能かつ機動的・弾力的な医療提供体制の構築に向け、全力で取り組んで参りますので、引き続き皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。





医療センタートピックス

ディーピーシー

DPC 特定病院群 に継続指定されました。



Diagnosis・Procedure・Combination

→ 略して「DPC」

ダイアグノーシス(診断)

プロシージャ(医療手当、治療)

コンビネーション(組み合わせ)

「DPC」とは、患者さんの病気や症状をもとに処置等の治療内容に応じた**1日あたりの定額の医療費を基本に入院医療費を計算する「包括評価方式」**です。

全国の主な急性期病院は「DPC制度」(診断群分類包括評価制度)に参加しています。

DPC群		全国 指定病院数	福島県 指定病院数
大学病院本院群	大学病院(特定機能病院)	82	1
特定病院群	大学病院に準じた 診療実績を有する病院	178	2
標準病院群	それ以外のDPC参加病院	1,526	22

※令和6年6月時点のDPC参加病院数:1,786病院

参加病院は、診療実績等に基づき、2年に一度の診療報酬改定時に、国により3つの「DPC群」に振り分けられます。「**特定病院群**」には、一定の期間内の診療実績が「大学病院本院群」の実績(基準値)を満たした医療機関が指定され、当センターは令和2年4月から「**特定病院群**」の指定を受けています。

令和6年度診療報酬改定が6月1日から施行されますが、それに先立ち、厚生労働省からDPC特定病院群の継続指定を受けました。

寄附講座「脊椎脊髄外科アカデミー」の設置

当センターは、福島県立医科大学の寄附講座の研究先医療機関としての役割を担っています。本年4月から、「脊椎脊髄外科アカデミー」を設置し、常勤医師が2名着任しました。(※名前が太字の医師が当センターに常勤しています。)

今後も、当センターの高度急性期医療提供体制を強化するため、新たな医師の招へいに向けて、努力を続けて参ります。

※次号以降で詳しくご紹介いたします。



研究テーマ

脊椎・脊髄疾患の新規診断・治療法の開発

研究体制

主任:松本嘉寛、教授:渡邊和之、**助手:猪股洋平**
助手:山尾和輝、准教授:二階堂琢也、准教授:小林洋
講師:加藤欽志、助手:中村正隆

設置期間

令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)

設置の目的と効果

脊椎脊髄病は、需要の多い疾患でありながら、本県浜通りにおいては十分な体制が整っていない状態にあります。

本市を中心とした、浜通りにおける脊椎脊髄診療の充実を目的とし、脊椎脊髄疾患に対する適切な医療の提供が可能となります。

災害拠点病院とDMAT

本年も各地で自然災害による被害が発生しております。
被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

本市は、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」において甚大な被害が発生し、当センターの前身である「総合磐城共立病院」は、全国の「DMAT」（災害派遣医療チーム）や「JMAT」（日本医師会災害医療チーム）にご支援いただきながら、「災害拠点病院」としての責務を果たしてきました。

その後も、令和元年東日本台風や、令和5年台風第13号による水害など繰り返し災害に見舞われています。



今回は、東日本大震災の様子や、災害拠点病院とDMAT活動についてご紹介します。

東日本大震災時の病院の様子

2011年3月11日午後2時46分マグニチュード9.0（いわき市震度6弱）の地震が発生し、当センターの前身である「総合磐城共立病院」もこれまで経験のない大きな揺れに見舞われました。

地震発生後は、余震が絶え間なく続き、停電も発生したため、自家発電への切り替えを行ったほか、一部の医療機器が使用不可となり、断水などライフラインもストップしました。

また、阪神淡路大震災後に受けた耐震診断において、中央病棟は震度6には耐えられない診断結果であったため、患者さんを一旦外に避難させました。

電力は約6時間後に復旧しましたが、水道の復旧までには2日を要しました。その後、原子力災害が発生し、自衛隊やDMATの協力の下、一部の入院患者さんを被災地外の医療機関に転院搬送せざるを得ませんでした。



災害拠点病院とは？



都道府県知事が指定した、
災害時に医療の最前線となる医療機関のこと。

【災害拠点病院の特徴】

- ・ 救急救命センター又は第二次救急医療機関である。
 - ・ **DMAT**（災害派遣医療チーム）を保有し、派遣体制がある。
 - ・ **24時間緊急対応**し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受け入れ及び搬出が可能である。
 - ・ 少なくとも**3日分の食糧や飲料水、医薬品、燃料等**を備蓄している。
 - ・ 耐震構造、自家発電設備等の保有があり、敷地内にヘリコプターの離着陸場を有する。
- などが挙げられます。



被災地の医療機関

DMAT派遣
医療機関や災害現場等の情報収集、
避難所の診療支援など



被災地外への患者搬送



被災地以外の医療機関

福島県内の災害拠点病院指定状況 (令和6年4月現在)

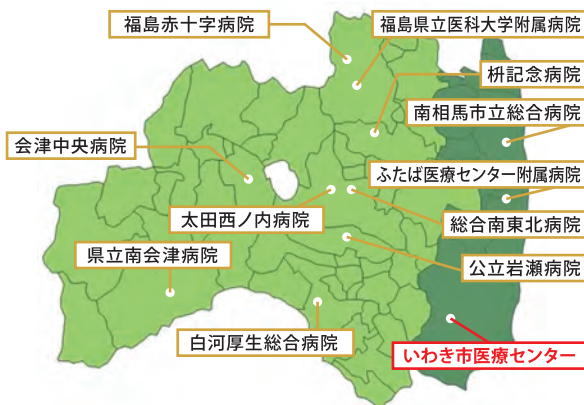
本県は当センターを含め、12の病院が災害拠点病院に指定されています。

● 基幹災害拠点病院

- ・福島県立医科大学附属病院

● 地域災害拠点病院

- ・いわき市医療センター
(平成8年11月29日総合磐城共立病院時に指定)
- ・福島赤十字病院(福島市)
- ・杵記念病院(二本松市)
- ・太田西ノ内病院(郡山市)
- ・総合南東北病院(郡山市)
- ・公立岩瀬病院(須賀川市)
- ・白河厚生総合病院(白河市)
- ・会津中央病院(会津若松市)
- ・県立南会津病院(南会津町)
- ・南相馬市立総合病院(南相馬市)
- ・ふたば医療センター附属病院(富岡町)



DMATとは？



災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team)

頭文字から「DMAT (ディーマット)」と呼ばれ、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。

大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場で、急性期(概ね発生から48時間以内)から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。

チームは、医師、看護師、業務調整員(医師、看護師以外の医療職や事務職員)が4名を基本に構成されています。

当センターでは、4チーム構成可能な人員を日本DMATに隊員登録しています。(令和6年4月現在)

これまで「平成30年北海道胆振東部地震」や「令和6年能登半島地震」での医療支援活動の他、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生した医療機関において、搬送調整等の支援活動を行ってきました。

能登半島地震におけるDMAT活動の様子

県の要請を受け、令和6年1月上旬と下旬の2回にわたり、輪島市・珠洲市にDMATを派遣し、被災地支援にあたりました。

他地域のDMATや自衛隊と連携し、患者さんの「広域搬送」や、被災地で非常に重要な情報整理(巡回チームや患者搬送の業務調整等)、高齢者施設等の巡回・全戸調査による医療ニーズの吸い上げなど、様々な業務に従事しました。

最後に

冒頭でも触れましたが、本市が東日本大震災などにより被災した際、全国のDMAT等のご支援をいただきながら乗り切ってきました。当センターは、いわき医療圏唯一の自治体病院として、今後も災害拠点病院としての責務を果たしてまいります。



特集②

看護部のご紹介



副院長兼看護部長 長谷川 吉子

看護部は「患者さんの意思を尊重しながら真心をこめて、市民に信頼される看護の提供」を理念に、患者さん、ご家族が安心できる質の高い看護の提供を目指しています。

刻々と変わりゆく社会環境の中で、職員一人ひとりが当センターの役割を果たすために必要なことを考え、多職種と共にチーム医療を実践し、市民の皆様が地域で安心して暮らしていけるように、信頼される病院、そして職員が輝ける病院を目指しています。

看護教育について（キャリア開発）



看護の専門職業人として、組織の中での役割を自覚し、自らを高めたいけるよう、主体的な学びを支援します。

クリニカルラダーシステムにより、個々の臨床実践能力を評価し、キャリア開発ができるよう、成長・発達を支援します。



認定看護師の活躍

認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる者をいいます。

認定看護師の役割は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献することです。

《当センター認定看護師の内訳》

認定看護管理者	1名	認知症看護	1名	がん化学療法看護	1名	乳がん看護	1名
救急看護	2名	小児救急看護	1名	緩和ケア	2名	がん性疼痛看護	1名
感染管理	2名	慢性心不全看護	1名	新生児集中ケア	1名	糖尿病看護	1名
皮膚・排泄ケア	1名	訪問看護	1名	集中ケア	1名	計18名	

救急看護



救命救急センターは
浜通り唯一の3次救急
を担っており、重篤な
患者さんを24時間体制
で受け入れています。
一昨年度より「現場
活動型救急医療」と
位置付けられるドク
ターカーを導入し、
医師や看護師らが
救急現場に駆けつけ、
初期治療をはじめ、
救命率を向上させる
ことを目的に活動して
います。



集中ケア

(ICU・E-ICU・HCU)



重篤な患者さんが緊急入
院し、集中的に管理を行う
病棟です。
患者さんは身体的にも
精神的にも不安定な状況
にあります。患者さんだけ
ではなく、ご家族の不安も
強いことから、その声に耳
を傾け、思いに寄り添いな
がら温かみのある看護の
提供を心がけています。

手術看護

私たちは周術期を通し質の高い看護を提供すると共に、手術を受ける患者さんを思いやる看護の心を大切にしています。



中央手術室では13診療科の手術に24時間対応し、年間約6500件の手術看護を行っています。

手術室看護師は患者さんの手術への不安を和らげるため術前・術後訪問も行っています。

ハイブリッド手術の実施や2023年度から手術支援ロボット「ダビンチ」を導入するなど、地域の中核病院として先進医療も行っています。

外来看護

外来は、地域の医療機関から紹介いただいた患者さんへの外来看護や退院後の継続看護など、専門性を活かし患者さんと関わっています。

外来から病棟、病棟から在宅、そしてまた外来へと「繋ぐ看護」を大切に多職種との連携を図っています。



通院で化学療法や放射線治療を行う患者さんが増えていくため、治療と社会生活が両立できる支援を心掛けています。

私達は、受診される患者さんとご家族の声に耳を傾け、思いに寄り添い、安心して受診していただけるよう、笑顔で丁寧に対応していきます。



病棟看護

手術を受ける患者さんに対する周術期看護を中心に、社会復帰されるまで、安全・安心な看護の提供ができるよう取り組んでいます。



同時に働きやすい職場づくりにも注力し、職員同士が互いを慮り、協力し、始業前残業の削減や定時退勤の促進などに取り組んでいます。
出勤することが楽しみになる職場づくりを職員全員で行っています。

緩和ケア

緩和ケア病棟は、がんの痛みをはじめ様々な症状を和らげ、その人らしいより良い療養環境を提供する病棟です。
病院の機能を残しながらも、心が和む雰囲気作りを大切に、入浴・庭園散歩・患者さんの誕生日会なども行っています。

がん治療のための積極的な治療は行いませんが、緩和医療を積極的に行い、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、栄養師、緩和ケア認定看護師、訪問看護師等、多職種協働でケアや在宅への療養支援を行っています。



- 学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
●当センターでは予約診療を行っており、表中の部は予約優先(一部完全予約制)となります。詳細は各診療科でご確認ください。

区分	ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆内科 ※IBD＝炎症性腸疾患 糖＝糖尿病科外来
※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。

内科一般(新)	E09	油井 満		油井 満	油井 満 (禁煙外来14:00～)	(当番制)		油井 満		(当番制)	
消化器(新)	E08	高橋 成一		池谷 伸一 (交代)		越後 紘治 織内 優好 (交代)		高井 智剛 (交代)		土佐 正規 池田 智之 (交代)	
消化器内科	F31									上野 孝治	
	F33									高橋 成一	
	E11	池田 智之				中山 晴夫		池田 智之		越後 紘治	
	E12			高井 智		高橋 成一 (IBD専門)		池谷 伸一		猪狩 剛	
	E13				土佐 正規 (IBD専門)	土佐 正規	高橋 成一 (IBD専門)	織内 優好			
循環器内科	F22	山本 義人 (新患)		瀬川 将人		山下 文男		山本 義人 山本 義人 (14:00～)		埴 健一郎	
	F23	工藤 俊		杉 正文		土屋 聡		杉 正文 (新患)		野木 正道	
	F24	石井 和典		隈部 将太	ペースメーカー	則政 颯		渡辺 翼		松田 航星	
	F31				第2・4 ICD						
糖尿病・ 内分泌科	E17					國井 智央		齊藤 道也 (禁煙外来)(第2・4)		大学 (交代)(糖)	
	E18	齋藤 悠 (糖)		齋藤 悠 (糖)			渡辺 崇 (糖)	齋藤 悠 (糖)		齋藤 悠 (糖)	
血液内科	F32	阿久津 和子		阿久津 和子		濱崎 洋一		濱崎 洋一		眞部 和也	
脳神経内科	E15			大学(第2・4)		大学				柴野 健	
心療内科	F25	(交代)		岩橋 成壽		木田 智士		岩橋 成壽		(交代)	

ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆小児科 ※循＝循環器 血＝血液 内＝内分泌 ア＝アレルギー 新＝新生児発達 1＝1ヶ月児健診 予＝予防接種 腎＝腎臓 神＝神経
【午後(専門外来診療)は完全予約制】 学＝学校心臓検診二次検診 シ＝シナジス なお、学校心臓検診二次検診は令和6年4～8月まで、シナジスは4～11月までの予定。

B41	埴 淳美	森島 重弘 循	埴 淳美		埴 淳美 遠藤 起生 循	埴 淳美 遠藤 起生 循	埴 淳美 遠藤 起生 循	埴 淳美 遠藤 起生 循	埴 淳美 遠藤 起生 循	埴 淳美 遠藤 起生 循
B52		石井 まり(第2・4) ア		埴 淳美 ア	野寺 真樹 神	野寺 真樹 神	藤江 弘美 神	藤江 弘美 神	藤江 弘美 神	藤江 弘美 神
B53	齋藤 大		齋藤 大		大原 信一郎(第2・4は午後のみ) 腎内	大原 信一郎(第2・4は午後のみ) 腎内	齋藤 大 埴 淳美 ア	齋藤 大 埴 淳美 ア	齋藤 大 埴 淳美 ア	齋藤 大 埴 淳美 ア
B54	(交代)		(交代)		鈴木 保志朗 腎	鈴木 保志朗 腎	(交代) 鈴木 保志朗 腎	(交代) 鈴木 保志朗 腎	(交代) 鈴木 保志朗 腎	(交代) 鈴木 保志朗 腎
B42			遠藤 起生 学	遠藤 起生 シ						
B43				本田 義信 新		埴 淳美 予				本田 義信 新

◆小児外科 ※月曜日午後の診療は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。

B44	(手術)	遠藤 悠紀	佐野 信行		(手術)	遠藤 悠紀	遠藤 悠紀		(手術)	佐野 信行
B45		佐野 信行								

◆皮膚科 ※火曜日の診療は、10:00からになります。

F42			非常勤	非常勤	非常勤					
-----	--	--	-----	-----	-----	--	--	--	--	--

◆心臓血管外科

F33	遠藤 由樹		入江 嘉仁		遠藤 由樹 中野渡 仁					
F34	中野渡 仁 深田 靖久				深田 靖久					

◆呼吸器科 ※内＝内科 外＝外科 ※呼吸器内科は、全て再来診療のみとなります。

B22			(手術)				福原 光朗(外)			
B23	峯 勇人(外)									
B24	大学(外) (院内紹介)(月1回)									
B25	大学(内)								大学(内)	
B26			大沼 菊夫(内)							

◆外科

A16	川口 信哉		川口 信哉		川口 信哉		白相 悟		吉田 寛	
A17			白相 悟		根本 紀子(乳腺)		河野 えみ子		永井 有	
A18	新谷 史明		吉田 寛		鈴木 大聡					
A19	根本 紀子(乳腺)		阿部 魁馬		九里 孝雄(甲状腺)		乳腺外来非常勤(第2・4)		根本 紀子(乳腺)	
A14			神山 篤史				佐々木 啓迪			
A13			藤川 奈々子				藤川 奈々子			

フース	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆形成外科

※形成外科は、日にち予約となります。

F36		芳賀 康史		芳賀 康史		(当番制)14:00～		芳賀 康史		助川 裕和
F37		助川 裕和		助川 裕和				浅尾 一輝		手口 円花
F38		手口 円花		檜垣 仁志				檜垣 仁志(第1235)		三浦 裕貴
F42		浅尾 一輝						三浦 裕貴		

◆産婦人科

※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。

F51	(交代)		金杉 優	浅井 隆之	西山 浩		西山 浩		西山 浩	
F55	本多 つよし		本多 つよし	金杉 優	本多 つよし		浅井 隆之	金杉 優	浅井 隆之	
F62	(交代)		大関 健治		金杉 優		大関 健治	浅井 隆之	大関 健治	
F64	三瓶 稔		清野 恭子	1ヶ月健診	三瓶 稔		清野 恭子		三瓶 稔	

◆整形外科

※脊=脊椎 外=外傷・骨折 足=足外傷 肩=肩・股関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ 腫=腫瘍 骨=骨粗しょう症
※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。

A01	安永 亨 ス		安山 晃弘 外		安永 亨 膝		安山 晃弘 外		安永 亨 膝	斉藤 徹
A02	金谷 淳平				笹島 功一 外足		笹島 功一 外足		渡邊 和之 脊	
A06	猪股 洋平 脊			猪股 洋平(400-) 脊	箱崎 道之 腫		千葉 大介	千葉 大介	猪股 洋平 脊	
A07	相澤 利武 肩・股				相澤 利武 肩・股				相澤 利武 肩・股	
A08	高橋 正樹 肩				高橋 正樹 肩	秋山 優人(400-) 膝			秋山 優人 膝	
A09	山尾 和輝				斉藤 徹				大谷 晃司(第35) 脊	高橋 忠久(第24) 骨

◆脳神経外科

A12	鈴木 保宏		(手術)	鈴木 保宏		(手術)	鈴木 保宏	
A13	佐藤 加奈子		(手術)	佐藤 加奈子		(手術)	佐藤 加奈子	

◆泌尿器科

※水曜日は、新患の診察は行っておりません。

B31	(交代)		徳山 聡	(交代)	(手術)	徳山 聡	増澤 太郎
B32	(手術)		上野 誠司	(交代)	(手術)	上野 誠司	上野 誠司／徳山 聡
B33	(手術)		竹田 篤史	(手術)	(手術)	増澤 太郎	竹田 篤史

◆眼科

※毎月第2水曜日の午後は、小児外来のみとなります。

E04	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃	手術・検査・治療 (予約のみ)	齋藤 昌晃	検査・治療 (予約のみ)	齋藤 昌晃	手術・検査・治療 (予約のみ)	齋藤 昌晃	検査・治療 (予約のみ)
E03		大学			大学		非常勤		大学	
E02		検査・治療(予約のみ)								

◆耳鼻咽喉科【完全予約制】

G02	(交代)		西條 聡	検 査	(交代)		西條 聡	処置 小手術	西條 聡	腫瘍外来
G03	(交代)		久嶋 郁人		(交代)		久嶋 郁人		久嶋 郁人	
G04	(交代)		鵜沼 むつ貴		(交代)		鵜沼 むつ貴		鵜沼 むつ貴	
G05	(交代)		長谷川 航世		(交代)		長谷川 航世		長谷川 航世	

◆歯科口腔外科

※午後は、予約診療となります。

G14	鈴木 崇嗣			鈴木 崇嗣		鈴木 崇嗣		鈴木 崇嗣	
G16	岩崎 敬大	(外来手術)	(手術)	岩崎 敬大	(外来手術)	岩崎 敬大	(外来手術)	岩崎 敬大	(外来手術)
G17	(交代)			(交代)		(交代)		(交代)	

◆麻酔科

※O1=術前評価 O2=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月～木曜は、日にち予約となります。

4階-O1		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)
4階-O2										飯嶋 千裕

◆放射線治療科

O4		藤本 圭介	藤本 圭介	藤本 圭介	非常勤(新患)	非常勤(再診)	藤本 圭介		
----	--	-------	-------	-------	---------	---------	-------	--	--

◆緩和ケア内科

E11		池谷 伸一			池谷 伸一				池谷 伸一
-----	--	-------	--	--	-------	--	--	--	-------

◆透折センター外科

F31			小柴 貴明			小柴 貴明			
-----	--	--	-------	--	--	-------	--	--	--



編集後記

今年も、12名の臨床研修医が、当センターに加わりました。

これからの地域医療を守っていくためにも、若い医師を育て、将来、それぞれの分野で活躍していただくことが重要です。

当センターは、「臨床研修指定病院」としての役割を果たすため、これからも明日の地域医療を担う医師の育成に力を注いで参ります。

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん)

…相手を慈しみ思いやる気持ちで患者さんに接すること。

「妙手」(みょうしゅ)

…優れた医療技術で診察、治療を行うこと。

基本方針

1. 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
2. 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
3. 明日を担う医療従事者を育成します。
4. 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
5. 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
6. 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。

いわき市医療センターの
「公式フェイスブック」、「公式インスタグラム」はこちらから



いわき市医療センター
Iwaki City Medical Center

みまや通信

●編集・発行/広報委員会 ●発行責任者/相澤 利武

〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16

【TEL】0246-26-3151(代) 【FAX】0246-26-2404(経営企画課)

●WEBサイト <https://iwaki-city-medical-center.jp>

●Email kyoritsu@iwaki-city-medical-center.jp

WEBサイトは
こちらから

